

# 平成 1 6 年 1 0 月 教 育 長 定 例 記 者 会 見 資 料

事 項	内 容	備 考									
<p>「第18回全国生涯学習フェスティバル」について</p> <p>基本構想について</p>	<p><b>全国生涯学習フェスティバルについて</b> このフェスティバルは、生涯学習に関する活動を実践する場を全国的な規模で提供することにより、国民の生涯学習への意欲を高めるとともに、学習活動への参加を促進し、生涯学習活動を一層盛んにすることを目的に開催いたします。 具体的には、民間の企業、団体、個人等の参加を得て、生涯学習に関する各種イベント、学習成果の発表、講演会、シンポジウム等を集中的に実施する、国内で唯一の参加体験型の全国的生涯学習イベントです。 平成元年に千葉県で第1回のフェスティバルが開催されて以来、毎年開催されており、平成18年度の茨城県開催が第18回目のフェスティバルとなります。 なお、第18回全国生涯学習フェスティバルは、平成18年10月5日から9日までの5日間で開催する予定です。県民文化センターと笠松運動公園を主会場に、県内6カ所程度を地域開催地として実施し、参加来場者を5日間で約100万人見込んでいます。</p> <p><b>第18回全国生涯学習フェスティバルの基本構想について</b> 基本構想は、当フェスティバル開催の運営方針・方向性を示すもので、今後策定する基本計画、実施計画の土台となるものです。昨年度、企画委員会を設置し、本県の特徴を十分に発揮できるイベントをめざして基本構想案を作成しました。平成16年10月27日に開催した第18回全国生涯学習フェスティバル準備委員会で基本構想の概要が承認されました。</p> <p><b>「第18回全国生涯学習フェスティバル」の基本構想概要</b></p> <p><b>開催理念(全国へのメッセージ)</b> 「集衆思、宣群力」〔弘道館記〕と先人は語った：みんなの知恵を集め、群れをなす力を広げよと語った・・・言いたいことは山ほどあるが、つまるところ「会って、語り合って、分かり合いたい」ということが茨城からのメッセージ</p> <p><b>開催の意義</b> 本県のすばらしい自然環境、先端科学、伝統文化等を最大限に生かし、県民総意による誰もが楽しめるフェスティバルにするとともに、このフェスティバルが生涯学習社会構築の礎となることを期待し「第18回全国生涯学習フェスティバル」を開催します。</p> <p><b>事業展開の方針</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 だれもが楽しく、参画・参加できるフェスティバルとします。</li> <li>2 交流と出会いを創造するフェスティバルとします。</li> <li>3 科学と伝統の調和を図るフェスティバルとします。</li> <li>4 現代課題に対応するフェスティバルとします。</li> <li>5 いばらきオリジナルを活かすフェスティバルとします。</li> </ol> <p><b>開催概要</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 趣 旨：全国生涯学習フェスティバルは、生涯学習に係る活動の場を全国的な規模で提供することにより、広く国民一人一人の生涯学習への意欲を高めるとともに、学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的とします。</li> <li>2 名 称：第18回全国生涯学習フェスティバル</li> <li>3 愛 称：まなびピアいばらき2006</li> <li>4 開催期間：平成18年10月5日(木)～10月9日(月：体育の日)</li> </ol> <p><b>事業構成</b></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: none;">1 総合開会式</td> <td style="border: none;">2 まなびピアいばらき2006記念事業</td> <td style="border: none;">3 生涯学習見本市</td> <td style="border: none;">4 生涯学習体験広場</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">5 地域開催地事業</td> <td style="border: none;">6 参加事業</td> <td style="border: none;">7 総合開会式</td> <td style="border: none;">8 協賛事業</td> </tr> </table> <p><b>地域開催地</b> 主会場(茨城県立県民文化センター・笠松運動公園)以外に、県内の各地域に拠点となる市町村開催地(地域開催地)を設け、それらをネットワーク化することにより、全県的で多種多様な「学び」が展開され、活発な交流を図ります。</p> <p><b>その他</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 広報・宣伝について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基本的な考え方 全国に幅広く、第18回全国生涯学習フェスティバル開催の周知を図り、参加意欲を高めます。 県民の気運醸成を図り、県内全域で大会開催を盛り上げます。</li> <li>(2) 募集等を通じた広報活動 大会を周知する一環として、大会キャッチフレーズや大会イメージソングを公募します。</li> </ol> </li> <li>2 福祉・環境等に配慮する大会運営 福祉ボランティアの協力を得るなどしながら、障害者や高齢者等の方々安心して楽しめるような運営を行います。 資源・エネルギーの節約とリサイクルを推進し、環境にやさしいエコフェスティバルを目指します。</li> <li>3 「まなびピアいばらき2006」による財産づくり フェスティバル終了後を視野に入れながら事業を展開することにより、今後の生涯学習の一層の推進につながっていく財産づくりを目指します。</li> </ol>	1 総合開会式	2 まなびピアいばらき2006記念事業	3 生涯学習見本市	4 生涯学習体験広場	5 地域開催地事業	6 参加事業	7 総合開会式	8 協賛事業	<p>準備組織体制について</p>	
1 総合開会式	2 まなびピアいばらき2006記念事業	3 生涯学習見本市	4 生涯学習体験広場								
5 地域開催地事業	6 参加事業	7 総合開会式	8 協賛事業								
	<p><b>第18回全国生涯学習フェスティバル準備委員会・企画調整チームの設置</b> 当フェスティバルを本県の特徴を生かした総合的な生涯学習振興の祭典とするために、準備委員会を組織し、開催準備を進めます。また、この準備委員会で協議すべき事項の事前検討を行い、準備委員会の所掌事務を補助することを目的として企画調整チームを組織しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">組 織 名</th> <th style="width: 40%;">第18回全国生涯学習フェスティバル準備委員会</th> <th style="width: 45%;">第18回全国生涯学習フェスティバル企画調整チーム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数及び会議回数</td> <td>・51名の委員構成で、年度内3回の会議を予定</td> <td>・9名の構成員で、年度内5回の会議を予定(うち1回は公募選考委員会)</td> </tr> <tr> <td>所掌事務</td> <td>・基本構想の策定・基本計画の作成・プレイベント実施計画の策定等</td> <td>・基本計画についての検討・プレイベント計画等に関する検討</td> </tr> </tbody> </table> <p>委員等につきましては、別紙名簿を参照願います。</p>	組 織 名	第18回全国生涯学習フェスティバル準備委員会	第18回全国生涯学習フェスティバル企画調整チーム	人数及び会議回数	・51名の委員構成で、年度内3回の会議を予定	・9名の構成員で、年度内5回の会議を予定(うち1回は公募選考委員会)	所掌事務	・基本構想の策定・基本計画の作成・プレイベント実施計画の策定等	・基本計画についての検討・プレイベント計画等に関する検討	
組 織 名	第18回全国生涯学習フェスティバル準備委員会	第18回全国生涯学習フェスティバル企画調整チーム									
人数及び会議回数	・51名の委員構成で、年度内3回の会議を予定	・9名の構成員で、年度内5回の会議を予定(うち1回は公募選考委員会)									
所掌事務	・基本構想の策定・基本計画の作成・プレイベント実施計画の策定等	・基本計画についての検討・プレイベント計画等に関する検討									